

2017年8月9日
日揮株式会社

2018年3月期第1四半期
テレフォンカンファレンスにおける質疑応答（2017年8月9日開催）

※テレフォンカンファレンス開催日（2017年8月9日）時点の情報に基づく内容です。

質問内容	回答内容
今期通期業績予測における粗利率7.1%に対し、第1四半期の粗利率は7.5%となっている。この差異について説明をお願いしたい。	通期業績予想策定上の想定為替レート110円/ドルに対し、第1四半期末の実績は112円/ドルであり、その影響が若干出ている。その他細かな要因もあるが、ほぼ想定通りの進捗であると認識頂いて良い。
前年度までに工事損失引当の対象となった案件の推移について教えて欲しい。	サウジアラビアの石油精製、アメリカのエチレン、クウェートの石油精製等の工事損失引当の対象となった案件は順調に進行しており、現時点で更なる採算悪化は無い。
触媒・ファイン事業において、期初ガイダンスを上回るセグメント利益となっているが、特別な要因はあるのか。単純に4倍すると通期のセグメント利益が80億円となり、期初ガイダンスの60億円を大きく上回るが。	通期業績予測上、当該事業の売上高は420億円、セグメント利益は60億円としており、第1四半期時点ではそれを上回るペースで推移した。 ファイン事業が好調な一方、触媒事業では第2四半期に予定していた売上げが、前倒して第1四半期に計上された等の事情もあり、現時点では通期業績予測の上方修正は考えていない。
工事損失引当の対象となった案件は順調に推移しているとのことだが、アメリカのエチレンプロジェクトは予定通り完工するのか？	これまで夏の後半から秋口にかけて完工予定とお伝えしており、基本的に大きな変化はない。若干の遅れはあるかもしれないが、採算に影響は出ないと見ている。

<p>アメリカのエチレンプロジェクトに関し、チェンジオーダー交渉により、採算の改善を目指すとの説明が以前にあったが、現状のアップデートをお願いしたい。</p>	<p>引き続き交渉を行っている段階であり、現時点での具体的な説明は差し控えたい。</p>
<p>当期受注目標 7,500 億円の達成について、現時点における見通しを教えて欲しい。</p>	<p>第1四半期において、順調なスタートを切ることができた。入札済みで結果を待っている案件、これから入札予定の案件が複数あり、引き続き目標の達成に向け努力していく。</p>

以上